

【旭川市(北海道)】旭川空港官民連携地域プラットフォーム

1. 背景・目的

- これまで旭山動物園をはじめ、数多くの観光資源を活かして、観光業の振興を図っており(BtoC)、企業誘致(BtoB)についても平成24年以降、毎年、誘致に成功し雇用の創出を実現している状況にある。
- このような中、ビジネスや観光の旅客にとどまらず、農業・製造業等さまざまな産業が旭川空港を「活用」することに着目し、さらに地元の産業が売上増加・雇用拡大という効果を得ることで、ひいては市の人口増加や地域の活性化が図られることを目的として、地域プラットフォームが設置された。

2. 事業概要

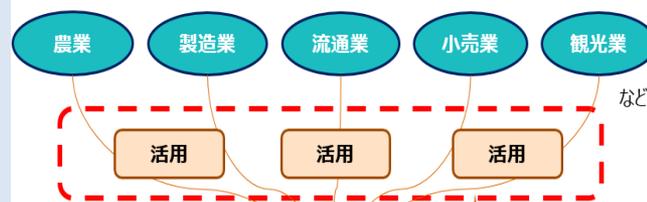
参加者	旭川市長、東神楽町長、経済団体、観光団体
協議内容	「地域振興に向けた旭川空港の活用」について、国内外の先行事例の研究及び今後の施策の方向性を協議
支援内容	・国内外の事例調査及び会議メンバーへのインプット ・地域振興に向けた施策の方向性に関する提案

3. 地域プラットフォームの取組概要

【プラットフォーム開催実績等】() 書きは「旭川空港の運営効率化等検討会議の回数

協議会開催日	協議内容	支援の成果
第1回 H29.3.16 (第6回)	・国内外の事例研究並びにあり方検討 ・産業振興に向けた旭川空港の活用可能性を協議	Local Enterprise Partnerships (LEP) : 英国が推進する地場産業との連携政策を産業振興に向けた旭川空港の活用可能性を協議
第2回 H29.8.17 (第7回)	地域振興に向けた旭川空港の活用に関する協議	施策の方向性を検討しうる4つの提案を協議 提案: 「移動」「コンテンツ」「大雪山」「生産品輸出」
第3回 H29.10.26 (第8回)	地域振興に向けた旭川空港の活用について検討会議を通じて取組の方向性を整理し確認	「今後民間委託の選定プロセスとは別に、これらの提案が施策を考える際に参考になっていくこととなる」

地域プラットフォームで協議された事項



移動ツールの発信と充実

各拠点間の「移動」に関する支援策

旭川及び周辺の資源を生かした体験型コンテンツ情報の発信と充実

「コンテンツ」の発掘・空港発の情報発信

大雪山国立公園を活かしたリピーター誘客

「大雪山」国立公園と空港のタイアップ

旭川空港のショーケース化及び生産品のPR

「生産品輸出」に係る空港内ビジネス環境の整備

旭川空港

売上の増加&雇用の拡大

人口増加・地域活性化



4. 取組成果

- 地域振興に向けた旭川空港の活用について検討会議を通じて取組の方向性を整理し確認。今後も自走していく組織が確立された。
- 民間委託の選定プロセスとは別に、今後の施策(官民連携事業を含む)を検討する際に参考となる提案であることが確認された。

5. 今後の活動計画

- 旭川市の施策を検討する際に地域プラットフォームにおける協議内容を参考にするとともに、必要に応じて、改めて会議を開催し地元の意見を集約する。
- 旭川空港の運営効率化について、官民が連携で検討していくために、支援終了後についても会議を自走させていく見込みである。
- 産業振興に際し担い手となる団体等を必要に応じて招き、意見を聴取することで、より効果的な施策に繋がると考えられる。